

テクノパイプ 取扱説明書(マニュアル)

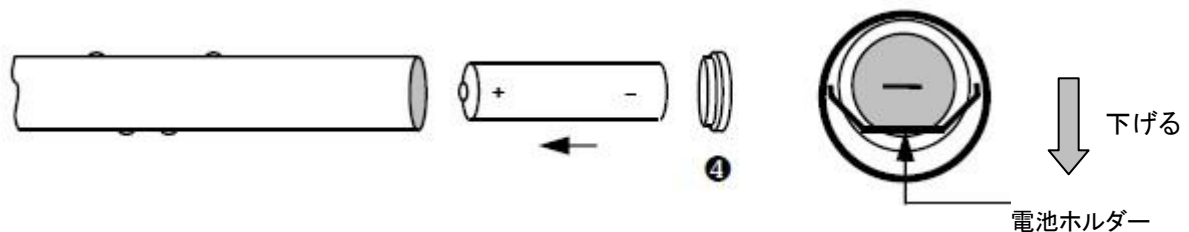
- イヤフォン: 付属のステレオタイプのものをお使いください。モノラルタイプのは機器損傷の恐れがあるため、使用しないで下さい。
- 電源: 電源はイヤフォンをつなぐと入り、外すと切れます。使わない時はイヤフォンを外して電池がなくなるよう、気を付けて下さい。
- 機能設定: 全ての機能設定はイヤフォンを付けた状態で、特定の指使いのパターンにしたうえで、端子②、③に触れることで可能です。



機能	指使いのパターン	端子②	端子③	端子②③両方
ドロン音		ドロン音 ON		
チャンター音 ON 録音		プレイバック速度 を上げる	プレイバック速度 を下げる	録音モード、 通常モード
サウンド OFF		サウンド OFF / 録音停止 / プレイバック停止		
感度		上げる	下げる	-
ピッチ		上げる	下げる	キー A > Bb > C > D >
メトロノーム		テンポを上げる	テンポを下げる サブビートを追加	2回で ON 3回目で OFF

ドロン		ボリュームアップ	ボリュームダウン	チューニング A > A+E > A+D
サウンド		スモールパイプ 2 <> スモールパイプ 1 <> GHB		-
スケール		半音階平均律 <> 半音階倍音チューニング <> GHB/SP 倍音チューニング		-
工場出荷設定		-	-	出荷設定値に戻す。 設定値はこのチャートの 赤字表示
音量		上げる	下げる	音量操作を 始める
MIDI		チャンターの チャンネル数を 増やす	チャンターの チャンネル数を 減らす	MIDI モードに入る

- 音量: 音量はイヤフォンの種類により、多少変わることがあります。大音量で演奏を続けると耳に悪影響を与えますので、ご注意ください。
- 演奏開始: ドロンを鳴らすときは、ドロン音 ON の指使いのパターンにして下さい。チャンターを鳴らすときは、チャンター音 ON の指使いのパターンにして下さい。
- 感度: 指が乾燥すると、感度が落ちることがあるかもしれません。感度は、5 段階で設定可能です。
- ピッチ: サウンドをスモールパイプに設定すると、チャンターは A のキー (220Hz) で始まります。LowA は 0.1 から 0.7Hz の刻みで 92Hz から 369Hz まで変わります。サウンドをハイランドパイプに設定すると、チャンターは Bb のキー (466Hz) で始まります。LowA は 185Hz から 738Hz まで変わります。チャンターのキーは A, Bb, C, D に設定できます。精度は ±3Hz 以内です。
- メトロノーム: 以下の要領でテンポを設定できます。
  - 1) メトロノームの指使いのパターンにする。
  - 2) 必要なテンポを決める。
  - 3) 端子②③を同時に触ってビートを開始する。
  - 4) 端子③を触って、サブビートを追加する。
  - 5) 端子②③を再度同時に触ってビートを開始し、メインビートを設定する。
  - 6) メトロノームがそのテンポで続く。
  - 7) メトロノームの指使いのパターンで端子②③を再度同時に触ることでメトロノームをオフにする。
- 録音: チャンターは 1200 の音階を録音することができます。録音した音階やフレーズに沿って練習することができます。録音の手順です。
  - 1) ドロンとチャンターの音を ON にする。
  - 2) 録音の指使いのパターンにする。
  - 3) 右手 (チャンターのボトムに来るほうの手) の親指で端子②③を同時に触る。高音の電子音が鳴ると録音モードになります。
  - 4) メモリーがフルになるまで自由に録音して下さい。メモリーがフルになると低音の電子音で知らせます。
  - 5) サウンド OFF の指使いのパターンにする。
  - 6) ドロン音を ON にすることで、プレイバックを開始する。
  - 7) チャンターを ON にして、録音した音に沿って演奏する (録音は右チャンネル、演奏音は左チャンネルで聞けます)。
  - 8) 上記 2) と 3) を行い、録音モードを OFF にする。低音の電子音が鳴ると通常モードとなります。
- スケールとチューニング: チャンターは 3 種類のスケールで演奏できます。
  - 1) GHB/SP の標準スケールは、ドロン音に同調する倍音チューニングです。
  - 2) 半音階倍音チューニングも倍音チューニングです。
  - 3) 半音階平均律は他の楽器と演奏するのに最適です。このチューニングでは、いくつかの音階がドロン音とずれる可能性があります。
- 電池と電池交換: 1.5V の単四形アルカリ乾電池または 1.2V の単四形ニッケル水素電池 (充電可能) を使用下さい。通常 10 ~ 20 時間以上電池が持ちます。充電可能な電池を使うほうが経済的です。チャンター先端のキャップを外して電池交換を行って下さい。マイナス極が外側に来よう電池を入れて下さい。電池ホルダーがマイナス極に電氣的に触れるようにして下さい。



※電池を出し入れするときは、電池ホルダーを図の矢印の向き(下側)に下げて下さい。

●トラブルシューティング:

症状:チャンター音が始まらない。

解決方法:電池切れかどうか確認して下さい。電池ホルダーが電池のマイナス極に接触しているかどうか確認して下さい。

症状:チャンター音が正しく始まらない、または始まっても数秒で切れる。

解決方法:新しい電池と交換するか電池を充電して下さい。

症状:チャンター音にカチッというノイズが入る。低音の音が片方のイヤフォンから聞こえる。

解決方法:チャンターがMIDIモードになっている。MIDIモードの指使いのパターンにしない状態で、イヤフォンをつなぎなおして下さい。

症状:チャンターの下の方が熱くなる。

解決方法:電池が逆方向で入っている可能性がありますので、確認して正しい方向で入れなおして下さい。

症状:チャンター先端のキャップ(電池のふた)が外れない。

解決方法:ふたの出っ張りに一円玉の角や割りばしの角を押し当てると外れます。

●メーカー情報

Anders Fagerström Electronics

Anundsgatan 8

S-753 34 Uppsala

Sweden

電子メール: info@technochanter.com

電話: +46 70 523 55 98

以上